

栃木県鹿沼市

長年の技術・経験で、処理が困難とされる有機性廃棄物の処理装置を開発・製造

同社は省エネルギー型有機性廃棄物処理装置「パグマ」シリーズの開発・製造・販売を行う。畜産系ふん尿等処理が困難とされる有機性廃棄物処理において、同社製品は高含水率廃棄物の処理が可能である。これまでに蓄積された、ものづくり技術や経験といった強みを活かした同社製品は、市場での評価が高く、取引先は全国の畜産農家や自治体等多岐に及び、受注も年々増加している。

●所在地	栃木県鹿沼市茂呂828番地	●設立	2013年
●電話/FAX	0289-77-7377/0289-77-7366	●資本金	1,000万円
●URL	https://jec-ks.co.jp/	●従業員数	12人
●代表者	代表取締役 丸山 敏		



生産性向上

有機性廃棄物排出事業者の課題を解決できる製品の開発・製造

同社製品「パグマ」は、自社内の有機性廃棄物を焼却せずに、熱分解で減容させる省エネルギー型廃棄物処理装置である。同社独自開発の「特殊構造サイクロン式水槽」と「除害装置」により、廃棄物の保管や処理時に発生する臭いが除去されるため、市街地に設置が可能となった。また、処理中に発生する熱の再利用が可能であり、利用の幅が広がっている。積極的な産学連携の結果、付加価値が向上した同社製品は、全国から高い注目が集まり、「パグマ」導入の事業者に対し補助金を交付する自治体が増加している。



有機性廃棄物処理装置「パグマ」

需要が多く見込まれる地域に支店を開設し効率的な営業を展開

同製品は大型であるため、顧客による製品導入の検討では、現地に赴いて、デモンストレーションや設置場所の確認、設置費用の見積り等を行うことが不可欠であった。そこで、同社は受注が多い九州地域に支店を開設して、見積りから契約までの期間を大幅に短縮させ、中国、四国、九州地域への営業・サービスを効率的に行っている。これは、社員全員が営業・組立・設置工事までを一貫してできるといった同社の独自性によるものである。今後は北海道方面への支店開設も計画しており、一層の販路拡大を目指している。



会社概観

熟練技術者の採用、若手人材育成の工夫で自社を活性化

他社を定年された熟練技術者の雇用や異業種間の技術交流により、これまで外注に依存しコスト高となっていた「溶接工程」の完全内製化を図っている。また、社内勉強会を開催して若手技術者に技能を伝承し、現場の状況に応じた適切な判断ができる人材の育成にも取り組んでいる。さらに、技術系出身者に限らず、幅広い多様な分野の人材を積極的に新規採用している。就労面では「働き方改革」による有給休暇の取得を促し、働きやすい環境づくりを進めて、従業員満足度向上に努めている。



内製化した溶接工程の様子

ものづくり